

日本政治学会 会報

The JPSA News

No. 22

Dec 1991

1992年度研究会セッションの公募について

92年度企画委員長 大嶽 秀夫

既に総会でもお知らせしましたように、1992年10月3日、4日に琉球大学・沖縄国際大学で行われる学会では、二つの「共通論題」を除いて、下記のような方針で行います。

新しい試みですので、色々と不備な点が出てくるかと思いますが、一般会員の一層自発的な参加による学会運営を目指し、是非成功させたいと思っております。セッションは、これまで以上の数を想定し、したがって、小人数で密度の高いディスカッションができることを期待しています。研究歴を問わず、多数の会員に応募していただいて、会員諸氏の積極的な参加と協力とで年次研究会を実りあるものになりたいと企画委員一同、切望しております。

記

1. セッションの企画を一般会員から公募し、テーマと人選とを応募した会員のイニシアティブに委ねる。セッションを企画するものは、企画委員会に、セッションのテーマとその（400字程度の）趣旨、司会者、報告者、ディスカッサントの予定者を記したプロポーザルを提出する。

企画委員会は、この申請をできる限り申請者の自主性を尊重する方向で検討するが、必要と判断する場合は、セッション相互の調整や報告者・ディスカッサントの追加、変更等を求めることがある。

2. 報告者は原則として3名以内とし、報告は各20分程度とする。それによって、実質的なフロアとのディスカッションを活性化する。
3. 報告要旨を集めたパンフレットは従来どおりに印刷、配布するが、報告の基礎となるペーパーを、事前に、できればワープロで印刷し、ディスカッサントに送付するとともに、一般会員には学会当日に配布することを原則とする。（報告者の負担軽減のため、販売の方法を検討中）報告は、このペーパーの要旨を説明するスタイルで行う。

申請書の送り先

〒980 仙台市青葉区川内 東北大学法学部
大嶽秀夫研究室
締め切り 1992年1月末

本号の主なニュース

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1. 92年度研究会のセッションを公募 ---- p.1 | 5. APSAとの交流講演会開催 ----- p.8 |
| 2. IPSA世界大会報告 ----- p.2 | 6. 理事選出規程等再検討臨時委員会
を設け ----- p.5 |
| 3. 次期理事・監事決まる ----- p.4,6 | |
| 4. 年報改革・会費改訂決まる。新会費
は92年から ----- p.7 | |

第15回 IPSA世界大会報告

蒲 島 邦 夫

第15回の世界政治学会（IPSA）は1991年7月21日から25日まで、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催された。ブエノスアイレスまでは30時間近くもかかり、「遠い」というのが最初の感想であった。日本から最も離れた地球の裏側にもかかわらず、にもかかわらず政治学会員の参加者は12名を数え、研究発表などに活発に参加した。

今回の世界大会のメイン・テーマ「Centers and Peripheries in Contemporary Politics」で、それがさらに政治理論、マクロ・ミクロ政治、政策研究、国際関係の4つのサブ・テーマに分かれ議論された。その他、IPSAの研究委員会、スタディ・グループによる研究会も同時に行われ、活発な研究交流が行われた。主催者側の発表によると、大会出席者は2,500人を越え、大変盛会であった。

研究会と並行してIPSAの理事会が開かれたが、日本政治学会はこの理事会に3名の出席権がある。今回は、日本政治学会から、佐々木毅国際交流委員長、有賀弘氏と私の3人が理事会に出席し、いくつかの重要な決定に関わった。まず、

1991-1994, Yの世界政治学会長にキャロル・ペイトマンUCLA教授が選出されたことを報告しておこう。そして、IPSAの執行委員選挙で、激戦の中、佐々木毅国際交流委員長がその一人に選ばれた。会長のペイトマン教授を中心に、新執行部が今年から3年間IPSAの運営に携わることになる。なお、3年後IPSA世界大会は統一間もないドイツのベルリンで開かれるが、独政治学会の代表からその準備状況について報告があった。ところで、IPSAの年会費だが、値上げが決まり、個人会員は1992-93年が45ドル、1994年が50ドルになる。なお、3年会員（1992-94年）も120ドルに値上げされたが、単年で払うよりもやや有利である。

ブエノスアイレスは遠くて経費がかさみ、飛行便も少なく発表者の欠席が目立ったこと。またホテル代も前もって郵送した人の中で、途中で小切手が紛失し、困った人が続出するなどの問題もなかったわけではないが、大会そのものは成功裏に終わった。

1991年度 第1回理事会記録

日 時 6月22日(土) 午後3時～5時30分
場 所 中央大学駿河台記念館

〔協議事項〕

1. 1992年度研究会のもち方に関する件

大嶽企画委員長より、基本方針が提示され、①セッションの企画を公募する、②報告時間を短くし討論に重点をおく、③ペーパーの作成・配布を求める、などの方針については了承された。ペーパーの販売および優秀なペーパーに賞を与える件については継続審議となった。

2. APSAとの交流計画およびIPSA世界大会派遣等に関する件

佐々木国際交流委員長より、今年度のAPSA

年次大会へ川人貞史、久米郁男、升味準之輔会員と国際交流委員として曾根会員を派遣する件について提案があり、了承された。IPSA世界大会およびラウンドテーブルの日本開催について意見交換がなされ、今後引き続き検討していくこととなった。

3. 国際交流基金運営規程に関する件

加茂常務理事より、国際交流基金運営規程について提案があり、了承された。ついで同基金の運営委員会委員に天川監事、五百旗頭、蒲島、加茂、佐々木各理事を選任したい旨報告があり、了承された。APSA年次大会への代表派遣費用の一部を基金果実から支出することとなった。

4. 新入会員の承認の件

下記の10名の入会が承認された。

河島高嶺、菅野聡美、桐村彰郎、芝野由和、清水敏行、滝口剛、竹中桂彦、日暮吉延、松園伸、八鍬龍義

5. 次回理事会の件

次回理事会は今年度総会・研究会の第1日目に開催されることが了承された。

〔報告事項〕

1. 委員会報告

(1) 企画委員会

(1991年度)

北岡委員長より順調に準備が進んでいる旨報告があった。政治学会非会員の報告謝礼に額については継続審議となった。

(1992年度)

大嶽委員長より企画委員を選任し、第1回の会合をもった旨報告があった。

企画委員：大嶽秀夫（東北大学）、五十嵐武士（東京大学）、五百旗頭真（神戸大学）、岩崎美紀子（筑波大学）、瓜生洋一（大東文化大学）、曾根泰教（慶応大学）、藤原保信（早稲田大学）、高柳先男（中央大学）

なお今後若干名の企画委員が追加される予定との報告があった。

(2) 年報委員会

(1990年度)

山口理事長より現在印刷中の報告があったと紹介された。

(1991年度)

松村委員長より各分担者は執筆の段階に入っている旨報告があった。

(1992年度)

藤原委員長より年報研究会を開催した旨報

告があった。

(1993年度)

田口委員長より年報委員、執筆者がほぼ決まりつつあり、テーマは「EC統合と統合とヨーロッパ政治」の予定であるとの報告があった。

(3) 文献委員会

(1991年度)

本田委員長より会員の自己申請に基づき文献リスト作成の作業中であるとの報告があった。

(1992年度)

中谷委員長より「学界展望」の編集方針の説明と文献委員の名簿の提出があった。

文献委員：中谷猛（立命館大学）、石田徹（龍谷大学）、宮本盛太郎（京都大学）、富沢克（同志社大学）、赤沢史郎（立命館大学）、阪野智一（神戸大学）、佐藤誠（立命館大学）、村上弘（立命館大学）、土居充夫（大阪経済大学）、宮本太郎（立命館大学）、安藤次男（立命館大学）

(4) 政治学教育・情報に関する臨時委員会

田口委員長より90年度アンケート調査結果のまとめが終わった旨報告があった。調査結果の概要については会報次号において会員に知らせることが決定された。

(5) 選挙管理委員会

今中委員長よりとどこおりなく理事選挙準備作業が行われ、現在投票中であるとの報告があった。

(6) 事務局

入会承認者で会費未納の者の取扱について、入会承認された年度の末に再度請求のうえ納入がない場合は入会承認を取り消す扱いとしたい旨報告があり了承された。

理 事 選 挙 結 果 報 告

本年6月に行なわれた第8回理事選挙の結果について、7月25日、今中選挙管理委員長より山口理事長あて、下記のとおり報告がありました。この結果は、10月5日、第2回理事会でも報告され

ました。

記

有権者総数
投票総数

1134
409

学 会 ニ ュ ー ス

投票率	36.1%	30票以上の得票者数	32
有効投票数	404	当選者の最高得票数	129
無効票数	5	当選者の最低得票数	40
転居先不明	9	(公選理事氏名は、6頁の総会記録参照)	

1991年度 第2回理事会記録

日 時 10月5日(土)午後0時～午後1時20分
場 所 明治大学(和泉校舎)

〔協議事項〕

1. 理事候補推薦の件

山口理事長より、9月19日開催の理事選考委員会の議にもとづき、18名の公選理事候補の他、17名の会員を次期理事候補として推薦したい旨提案があり、了承された。併せて、来年度沖縄で開催予定の総会・研究会との関係で、我部理事の転任に伴う理事交代を承認し、島袋邦会員(琉球大学)を今期の理事として補充したい旨提案があり、了承された。

2. 監事候補推薦の件

山口理事長より、武藤博己会員(法政大学)を次期監事候補として推薦したい旨提案があり、了承された。

3. 報告者謝礼の件

加茂常務理事より、研究報告者等への謝礼・交通費に関する規程について提案があり、了承された。

4. 1991年度国際交流基金運用計画の件

加茂常務理事より、1991年度の国際交流基金の果実の運用計画について提案があり、了承された。

5. 新入会員承認の件

下記の者の入会が承認された。

相川宏、秋月謙吾、岩崎正洋、遠藤誠治、小澤芳雄、竹下讓、黒川みどり、後藤一美、五味太始、白井培嗣、田島平伸、田辺国昭、鄭俊伸、徳永良明、西崎文子、西村茂、畑山敏夫、日詰一幸、丸山仁、南野泰数、山下治和

6. 次回理事会の件

1991年12月7日(土)に東京で開催されることが了承された。

7. その他

山口理事長より、科学研究費第二段審査委員の候補に、これまでの慣行にしたがい、今年度及び来年度の企画委員長である北岡会員と大嶽会員を推薦した旨報告があり、了承された。また学術会議研連委員に藤原、佐々木、五百旗頭、加茂の四会員を推薦した旨報告があり、了承された。

〔報告事項〕

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

(1991年度)

北岡委員長より、研究会は予定どおり進行中であるとの報告があった。

(1992年度)

大嶽委員長より、共通論題のテーマは「ポスト冷戦と東アジア」、「リベラリズムの現在」と決定し、また沖縄の現状について特別講演、APSAとの関係でアメリカ関係の分科会を設けることを検討している、との報告があった。

(2) 年報委員会

(1990年度)

山口理事長より、年報が刊行されたとの報告があった。

(1991年度)

村松委員長より、一篇を除いて他の原稿は印刷に廻されたとの報告があった。

(1992年度)

藤原委員長より、来年度6月末原稿締切に向けて研究会を積み重ねているとの報告があった。

(1993年度)

田口委員長より、年報のテーマを「EC統

合とヨーロッパ政治」に決定したこと、年報委員会は執筆者11名を含め18名で構成し、1回目の研究会を開催したことが報告された。

(3) 文献委員会

(1991年度)

本田委員長より、文献リストは完成したとの報告があった。

(1992年度)

中谷委員長より、委員会メンバーの紹介と編集方針についての説明があった。

(4) 国際交流委員会

蒲島委員より、IPSA世界大会について

の報告があった。佐々木委員長より、世界大会、円卓会議及びAPSAとの交流についての報告があった。

(5) 政治学教育・情報に関する臨時委員会

田口委員長より、アンケート調査報告書を希望者に無料配布すること、また会員に対するアンケート調査を現在実施中であることが報告された。

2. その他

山口理事長より田口理事より、日本学術会議とその研連の体制についての報告があった。

1991年度 総 会 記 録

10月6日、理事会に引続き、午後1時30分より、1991年度総会が開催された。議事次第は以下のとおりである。

1. 開会挨拶 明治大学 富田理事
2. 開催校挨拶 明治大学 岡野法学部長
3. 理事長挨拶 山口理事長
4. 各委員会報告
 - 企画委員会 (1991年度) 北岡委員長
 - (1992年度) 大嶽委員長
 - 年報委員会 (1991年度) 村松委員長
 - (1992年度) 藤原委員長
 - (1993年度) 田口委員長
 - 文献委員会 (1991年度) 本田委員長
 - (1992年度) 中谷委員長
 - 国際交流委員会 佐々木委員長
 - 政治学教育・情報に関する臨時委員会 田口委員長
5. 1990年度決算・監査の件 加茂常務理事
今村監事
6. 次期理事・監事選任の件 山口理事長
7. 閉会挨拶 富田理事

理 事

- ☆飯坂 良明 (学習院大学) 土倉 莞爾 (関西大学)
- ☆五百旗頭真 (神戸大学) 戸沢 健次 (愛媛大学)
- 石川 捷治 (九州大学) ☆富田 信男 (明治大学)
- ☆猪口 孝 (東京大学) 中川原徳仁 (久留米大学)
- 今中比呂志 (広島大学) 中谷 猛 (立命館大学)
- 大嶽 秀夫 (東北大学) ☆中村 勝範 (慶応義塾大学)
- 沖野 安春 (新潟大学) ☆西尾 勝 (東京大学)
- 蒲島 郁夫 (筑波大学) 西川 洋 (三重大学)
- 加茂 利男 (大阪市立大学) 比屋根照夫 (琉球大学)
- 北岡 伸一 (立教大学) ☆藤原 保信 (早稲田大学)
- ☆佐々木 毅 (東京大学) ☆堀江 湛 (慶応義塾大学)
- ☆佐竹 寛 (中央大学) ☆本田 弘 (日本大学)
- 田口 晃 (北海道大学) 丸山 敬一 (中京大学)
- ☆田口富久治 (名古屋大学) ☆三谷太一郎 (東京大学)
- 田中 治男 (成蹊大学) ☆村松 岐夫 (京都大学)
- ☆田中 浩 (大東文化大学) 森脇 俊雅 (関西学院大学)
- ☆田中 靖政 (学習院大学) ☆安 世舟 (大東文化大学)
- ☆寺崎 修 (駒沢大学)

(☆印は公選理事)

監 事 (1991.10-1994.10)

武藤 博巳 (法政大学)

なお、次期理事と併せて、現理事のうち、92年度総会開催校(琉球大)の我部理事の転出に伴い、島袋邦氏への理事交代が提案・承認された。

総会で承認された、次期理事・監事(1992.10-1994.10)の氏名は、次のとおりである。

1991年度 第3回理事会記録

日 時 10月6日(日) 午後0時20分～午後1時
場 所 明治大学(和泉校舎)

[協議事項]

1. 理事選出規程の再検討等に関する臨時委員会設置の件

山口理事長より、理事選出規程の再検討、理事長選考規程の制度化、内規の整備等のために臨時委員会を設置する件及びその構成などの件について提案があり、了承された。

2. I P S A世界大会・円卓会議の件

1994年に円卓会議を日本で開催する用意がある旨、I P S Aの次回執行委員会において意思表示する件について、次回理事会に向けて検討を進めることが了承された。

3. 新入会員承認の件

下記の者の入会が承認された。

北原鉄也、金 玖煥、坂山高朗、雀部幸隆、野原 光、森 政稔。

臨時総会記録

10月6日(日)、午後2時より、91年度臨時総会が開催された。議事次第は下記のとおりである。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1. 開会挨拶 | 明治大学富田理事 |
| 2. 次期理事長選任の件 | 山口理事長 |
| 3. 年報政治学の改革及び会費改訂の件 | 山口理事長 |
| 4. 1991年度予算の件 | 加茂常務理事 |
| 5. 事務局報告 | 加茂常務理事 |
| 6. 閉会挨拶 | 富田理事 |

○ 次期理事長選出について山口理事長より次のような報告がされた。

・次期理事会において、従来の慣行にもとづき、山口理事長より三谷太一郎次期理事が次期理事長に推薦され、了承された。

・併せて、理事長選出手続き、選出規程などの見直しをはかるため、現理事会のなかに臨時委員会を設けることとなった。

・次期常務理事については、次期理事長に一任し、事後承認手続きをとることとなった。

○ 年報改革・会費改訂については90年度第6回理事会の決定について理事長より説明され、了承された。これにより92年度より、会費は7,500円(大学院生5,000円)、年報は全員配布となることが決まった。

アメリカ政治学会との学術交流講演会

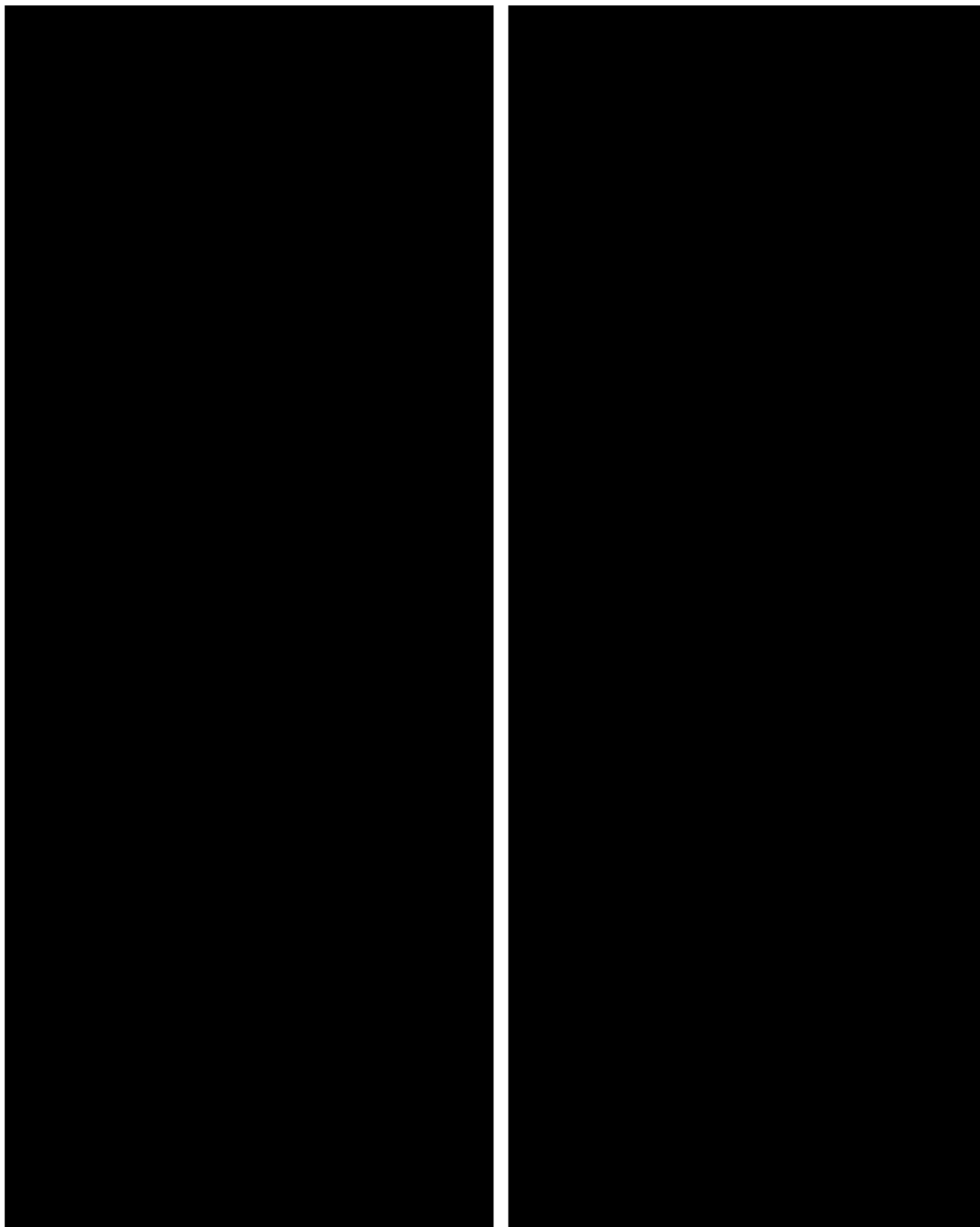
1991年度日本政治学会総会・研究会の第1日目、10月5日(土)午後2時半より、明治大学和泉校舎において、アメリカ政治学会との学術交流講演会が開催された。

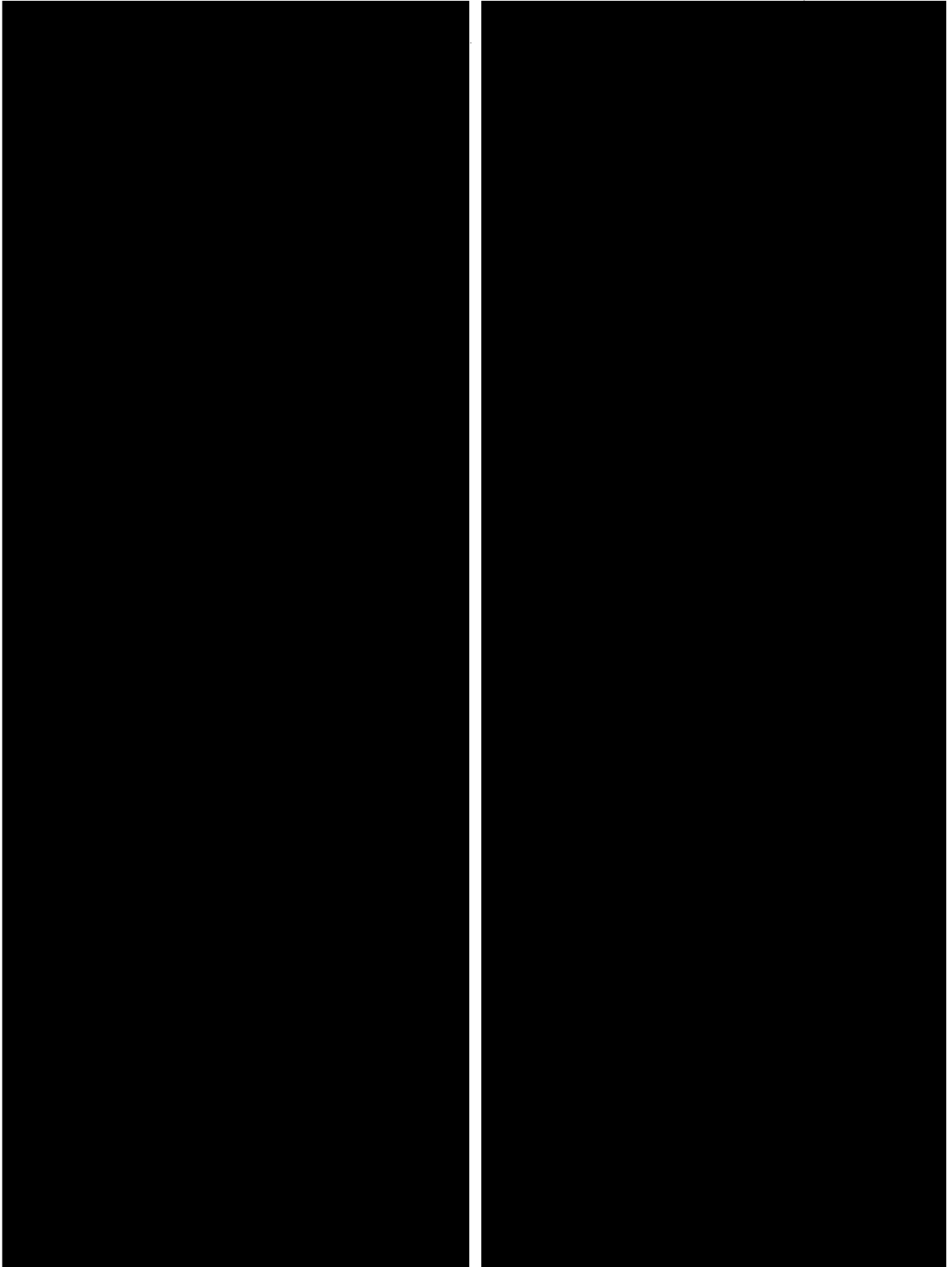
佐々木国際交流委員長の開会の辞のあと、アメリカ政治学会から派遣されたウォレン・E.ミラー教授(アリゾナ州立大学)、リンダ・L.ファウラー教授(シラキュース大学)、L.サンディ・メイゼル教授(コルビー大学)が、それぞれ「アメリカの有権者の世代交代」(Changing Generations:

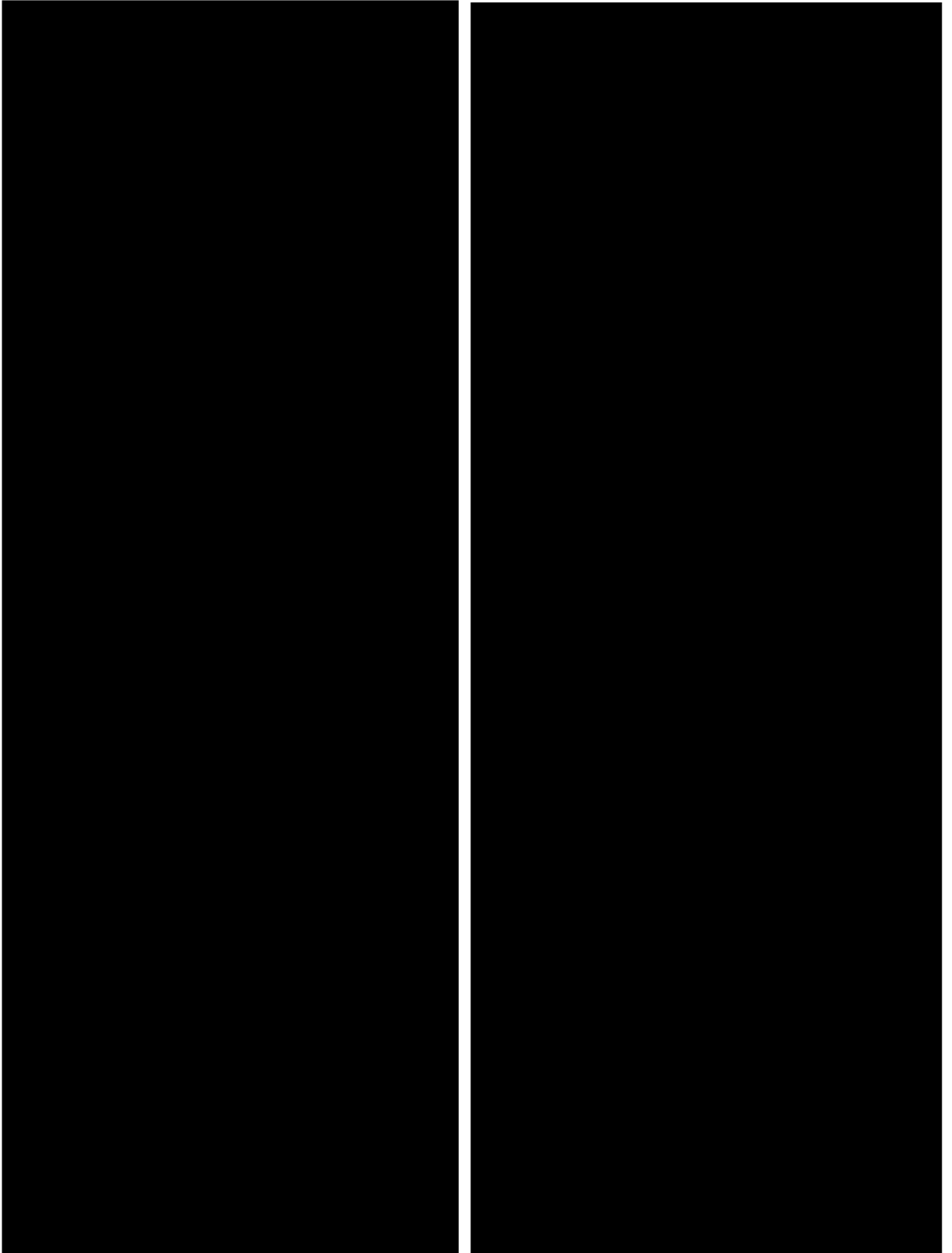
Some Consequences of Compositional Change in the American Electorate)、「候補者、議会とアメリカン・デモクラシー」(Candidates, Congress and the American Democracy)、「議会と大統領の間の分裂政治」(You Can't Beat Somebody with Nobody: Divided Politics in 1992 and Beyond)というテーマで講演を行った。

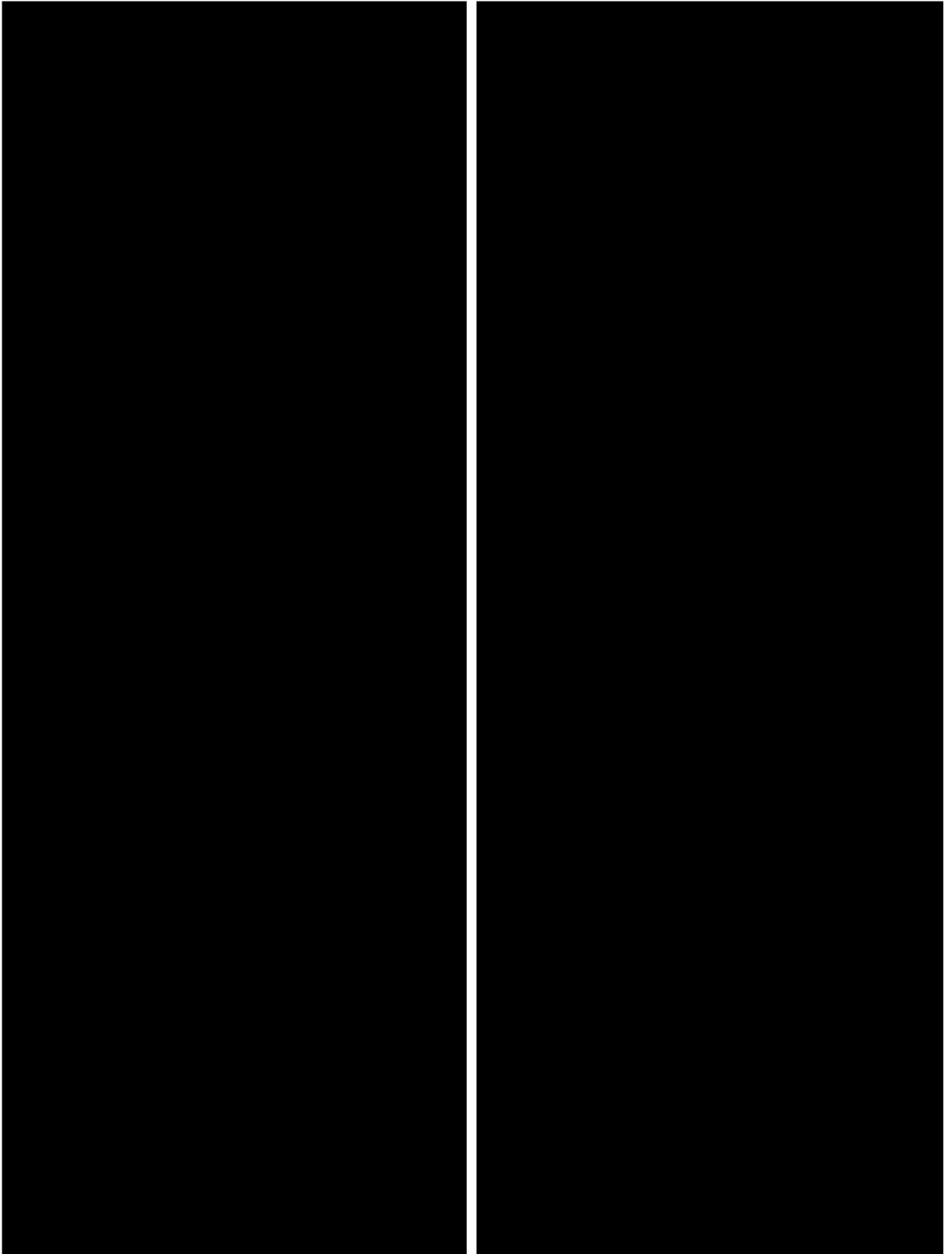
講演に引き続き、フロアーから3名の会員の質問があり、それに対する講演者の応答のあと、佐々木国際交流委員長の閉会の辞により講演会は終了した。

会 員 の 異 動 (91.11.20 現在)









政治学の情報化に関する機関向けアンケート調査の概要

(1990年秋実施)

政治学教育情報に関する臨時委員会 (委員長・田口富久治)

この調査では、政治学教育を行っていると思われる各機関における「情報化」への対応に関して、教育・研究の両面からの質問を行った。以下、13の質問項目中、主要4項目につき、回答の状況を報告する。なお、有効回答を寄せられた104部局の構成は以下のとおりである。

法 学 部	59	56.7%
政経・法経学部	7	6.7%
他 学 部	15	14.4%
研 究 所	22	21.2%
大 学 院	1	1.0%
合 計	104	100.0%

問1：貴大学において、情報化に対応する授業科目（例えば、政治行動論、情報処理と政治学、法情報学、文化系のための情報処理概論、等々）がありますか？ この中には、「政治学演習」などの一般的科目名のもとで、担当の教員が実施的に情報化に対応する教育を行っているものをも含みます。

ある	ない	合計
75	29	104
72.1%	27.9%	100%

(別の設問で科目名を聞いているが、設置している部局においても、開講している科目は、「情報処理概論」などの一般的な全学向け授業であることが多い)。

問2：将来、情報化に対応する授業科目を設置する計画がありますか？

	ある	ない	合計
	3	26	29
29部局中	10.3%	89.7%	100%
全部局中	2.9%	25.0%	27.9%

問5：貴学部・部局（または関連研究施設）には、コンピューター（ワークステーション・パソコン等々）が、個人購入機器ではなく研究・教育用施設として設置されていますか？されている場合、その機種と台数、およびCD-ROMドライブなどの周辺機器の有無などをお答え下さい。またされていない場合には、設置計画の有無をお答え下さい。

されている	されていない	合計
91	13	104
87.5%	12.5%	100%

設置台数別部局数：

未設置 1-5台 6-10 11-20 21-50 51-100 101-200 201台以上 不明
 12.5% 31.7% 11.5% 8.7% 12.5% 8.7% 8.7% 3.8% 1.9%
 (設置台数はさすがに少なく、0台から10台までの全体の過半数を占めている。その一方で、教育用の端末機器を含め、20台以上のコンピューターを設置している部局も出現しつつある。

周辺機器としては、ハードディスク、プリンターなどはほぼ標準的には設置されており、データ検索用のCD-ROMドライブも設置が進行している。しかしイメージリーダーや光ディスクはまだ普及していない)。

問6：その設備は、どのように利用されていますか？

か？（複数回答可）

該当部局数(全部局中)：回答部局89

- 49 (47.1%) 1. 学内LAN・学部内LANの端末として
- 43 (41.3%) 2. 市販データベース（日経テレコン・判例マスターなど、またNEXISなど外国のデータベースをも含みます）へのアクセス用
- 42 (40.4%) 3. 教育用（学生向けコンピューター操作実習など）
- 34 (32.7%) 4. データベース構築用機器として

- 67 (64.4%) 5. 日常の情報処理用（文書作成、スケジュール管理など）
- 22 (21.2%) 6. 他大学・機関とのネットワーク構築
- 11 (10.6%) 7. その他
- 他に無回答部局が15 (14.4%)
- （文書作成に次いでLANの端末やデータベースへのアクセス用の機器としての利用も多く、各大学でLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）の構築が進んでいることをうかがわせる。独自のデータベース構築や、他大学とのネットワーク形成はまだ進行途上であるが、今後はこの方向へ利用がさらに進展していくものと思われる。）

事 務 局 よ り

会費納入のお願い

未納会費のある会員には、振込用紙を同封しております。同紙にて、会費をお支払い下さいますようお願い致します。

なお、来年度より会費が改訂されますので、ぜひ未納会費は今年度中にご納入下さい。

異動の連絡について

会報前号でもお願いしたように、事務局よりの郵送物で、転居先不明で返送されるものが増えております。会費の滞納、ひいては退会扱いとなる原因にもなりますので、異動の際はぜひ事務局あて、ご一報下さい。

計 報

本年7月、辻清明元理事長が、逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

辻 清明氏（東京大学名誉教授）

1991年7月30日没。行政学専攻、1913年生まれ。

役職：理事長 1970～72年 理事 1961～70年

政治学教育・情報臨時委員会 調査報告書について

本号には、政治学教育・情報に関する臨時委員会（田口富久治委員長）が、昨年秋に実施された政治学の情報化に関する機関向けアンケート報告書の要旨が、掲載されています。

報告書全文は、本年度総会・研究会の際会場希望者に配布されましたが、なおご関心のある方は同委員会事務局（名古屋大法学部・小野耕二会員）まで、お問い合わせ下さい。

1991年12月15日

発行 日本政治学会事務局

加 茂 利 男

〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部内

TEL 06-605-2336

郵便振替番号 東京0-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 日幸印刷株式会社